

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり7.92人報告されており、3週続けて増加しています。

例年この時期からノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が急増します。ノロウイルスは感染力が強いので、患者の吐物や便の取扱いには十分注意する必要があります。

2. インフルエンザ

6人(定点当たり0.16人)報告されています(迅速診断キット:すべてB型陽性)。

流行前に、できる限り早めに予防接種を受けることをおすすめします。また、手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。

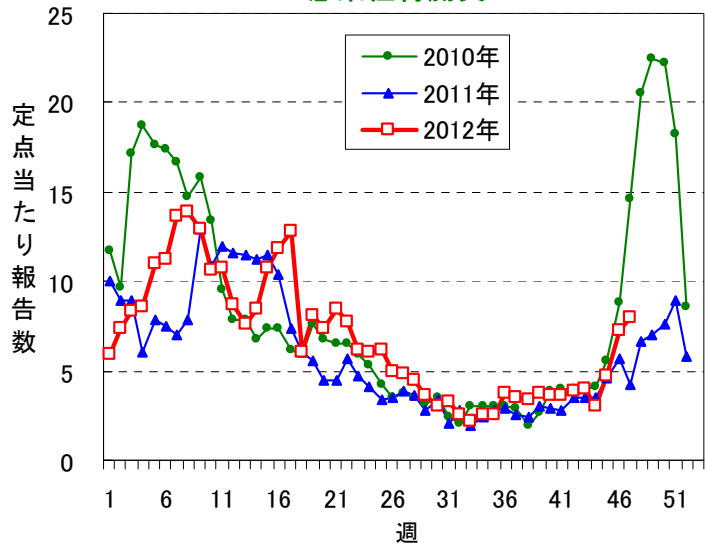
3. 腸管出血性大腸菌感染症

1件(O111)の報告があり、今年の累計は14件となりました。

4. 後天性免疫不全症候群

1件(HIV感染者)の報告があり、今年の累計は16件となりました(次頁参照)。

感染性胃腸炎



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	6	0.16	8.09		ヘルパンギーナ	-	-	0.06	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.33		流行性耳下腺炎	5	0.21	0.40	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	1.42	1.35		RSウイルス感染症	24	1.00	0.78	
感染性胃腸炎	190	7.92	7.71		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	33	1.38	1.48		流行性角結膜炎	2	0.25	0.59	
手足口病	-	-	0.31		細菌性髄膜炎	-	-	0.09	
伝染性紅斑	-	-	0.09		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
突発性発しん	11	0.46	0.60		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.32	
百日咳	2	0.08	0.24		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	256	男性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	14	女性(10歳未満)・O111
5	後天性免疫不全症候群	1	16	男性(40歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第43週	-	2	16	95	12	-	1	15	4	2	7	15	-	-	-	2	-
		第44週	3	4	19	73	25	-	-	11	6	1	8	9	-	-	2	4	-
		第45週	-	5	20	114	36	-	3	11	8	-	12	19	-	2	-	1	-
		第46週	3	9	39	174	27	-	-	17	4	-	12	31	-	1	-	4	-
		第47週	6	2	34	190	33	-	-	11	2	-	5	24	-	2	-	1	-
定点当 たり	広島市	第43週	-	0.08	0.67	3.96	0.50	-	0.04	0.63	0.17	0.08	0.29	0.63	-	-	-	0.29	-
		第44週	0.08	0.17	0.79	3.04	1.04	-	-	0.46	0.25	0.04	0.33	0.38	-	-	0.29	0.57	-
		第45週	-	0.21	0.83	4.75	1.50	-	0.13	0.46	0.33	-	0.50	0.79	-	0.25	-	0.14	-
		第46週	0.08	0.38	1.63	7.25	1.13	-	-	0.71	0.17	-	0.50	1.29	-	0.13	-	0.57	-
		第47週	0.16	0.08	1.42	7.92	1.38	-	-	0.46	0.08	-	0.21	1.00	-	0.25	-	0.14	-
全国		第45週	0.11	0.27	1.66	8.75	1.09	0.59	0.05	0.60	0.02	0.08	0.40	1.11	0.01	0.57	0.03	1.26	0.04
		第46週	0.14	0.30	1.66	11.39	1.28	0.55	0.04	0.59	0.03	0.08	0.33	1.08	0.01	0.58	0.01	1.32	0.06

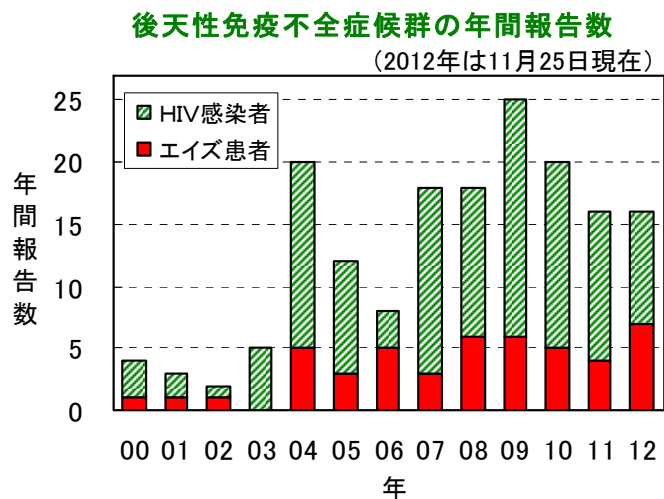
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	上気道炎	0	女	2012/10/28	鼻汁(拭い液)	百日咳菌
川崎病	発熱(39.2) 紅斑 上気道炎 肝機能障害 結膜炎 リンパ節腫脹	2	男	2012/10/11	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎	0	男	2012/10/07	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	1	女	2012/10/11	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.9) 上気道炎 気管支炎	1	男	2012/10/15	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群(エイズ)の発生動向 一年間報告数の推移



広島市では、後天性免疫不全症候群(エイズを発症していないHIV感染者を含む)の報告数は2004年に20件と急増したあと、2005年から2006年にかけて減少しましたが、2007年に再び増加し、その後も多い状態が続いています。**2012年もこれまでに16件(エイズ患者7件、HIV感染者9件)報告されています(11月25日現在)。**

医療の進歩により、感染後、早期に適切な治療を受ければ、エイズの発症を長期にわたり防ぐことができるようになってきました。つまり、感染を早期に発見することが重要です。

広島市では世界エイズデー(12月1日)を中心に、通常の検査日程に加え、各区の保健センターで臨時検査を実施しています(検査は無料・匿名です)。また、12月8日(土)にアリスガーデンで、「レッドリボンキャンペーンin広島 2012」を開催し、予約不要の臨時HIV(エイズ)検査を実施します!

この機会に検査を受けてみませんか?

HIV(エイズ)検査日程は広島市のホームページからご確認ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1123576563958/index.html>

【問い合わせ先】健康福祉局 保健部 保健医療課 (電話 082-504-2622)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第47週(11月19日~11月25日)